2026 年 10 月 22 日（第 1.0 版）

臨床研究に関する情報

当機関では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、対象となる方の情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和３年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第１号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

［研究課題名］　新世界ハンタウイルスの診断法の確立

［研究機関名・長の氏名］北海道大学遺伝子病制御研究所・所長　茂木文夫

［研究責任者所属・氏名］北海道大学遺伝子病制御研究所附属動物実験施設・吉松組子

［研究の目的］
本研究ではオルソハンタウイルス感染症の急性期および感染後期を捉えることが可能な新規イムノクロマトグラフィー法を開発する事、またウイルス様粒子を用いた中和試験法を開発する事を目的とします。

［研究の方法］
〇利用する検体・情報
検体：血清
本研究では、過去に収集した以下の検体を使用します。

1. ニューメキシコ大学の Brian Hjelle 教授から分与されたアメリカ国内でハンタウイルス感染症と診断された患者から取得された検体
2. アルゼンチン国立ウイルス研究所 Delia Enria 博士より分与された、アルゼンチン国内でハンタウイルス感染症と診断された患者から 2000 年以前に取得された検体
3. 中国科学医学院　宋干博士より 196 年ごろに分与された中国国内でハンタウイルス感染症と診断された患者から取得された検体
4. 大阪大学微生物病研究所　山之内孝尚教授らが収集し、伊勢川祐二博士より 1998 年ごろに、分与され、実験動物に由来するハンタウイルスに感染した日本人研究者から取得された検体
5. 1993 年ごろにスウェーデン感染症研究所 Ake Lundkvist 博士および Bo Niklasson 博士から分与された、スウェーデンでハンタウイルス感染症と診断された患者から取得された検体

情報：居住地域（北米、南米、中国、日本、スウェーデン）
ハンタウイルス属に属するウイルス抗原への IgG 抗体、IgM 抗体および中和抗体を測定します。

［研究実施期間］
実施許可日(検体・情報の利用開始：2026年11月頃)～2031年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料などの情報をお知りになりたい場合は、研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する方の情報は、個人を特定できる情報はありません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者の方を特定できる情報は利用しません。

［北海道大学遺伝子病制御研究所の連絡先・相談窓口］
北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目
北海道大学遺伝子病制御研究所　吉松組子
電話　011-706-5539　　FAX　011-706-7547